



岩槻幼稚園・2025年度2月号

<2025年度2月の聖句>

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。
ヨハネによる福音書15:12

～心にとめて～

2月になりました。最高気温が一桁の日もふえてきて、1年でいちばん寒い時期になりました。わたくしごとですが、年々寒さによわくなっているような気がします。なかに一枚余計に着こまないと、とてもみんなといっしょにお外であそべません。

それに引き換えこどもたちは、きたかぜなんて何のその。やりたいこと、気になることをめいっぱい楽しんでいます。ぼかぼかなみんなに元気をもらって、いっしょにあそんでもらっています。

みんなにとってはあそびが大事なおしごとですから、しっかり食べて、ゆっくり休んで、ぐっすり眠って、これからも寒さにまけずに過ごしてくれたらと思います。

いつの日だったか、ある子がくつも履かないで、園庭に出ていってしまいました。どうやら、じぶんの気持ちが通らなくて、かなしくてぷんぷんしていたようです。追いかけて見守っていると、その子が「いまわるいことしてるの!」と声を張っていいました。その姿がかわいらしくて、思わず笑ってしまいました。

「こどもたちが安心してわるいこでいられる場所をつくりなさい」。ぼくのかつてのせんせいは、そう教えてくれました。もちろんおともだちを傷つけたりすることは見過ごせません。みんなで一緒に生活している以上、なんでも好き勝手にはできません。ですが、おとなの顔をうかがって、じぶんの気持ちを出せない環境では、その子のころろは育っていきません。ですから、ときに諭されながらも、じぶんの気持ちをそのまま出せる、そんな安心できる場所でおおきくなってほしい。それがぼくの願いでもあります。

ぼくの好きなこどもさんびかに、「どんなにちいさいことりでも」という歌があります。

その3番の歌詞には、『「よいこになれない わたしでも かみさまは あいしてくださる」って、イエスさまの おことば』とあります。

そんなふうに、どんなときでも変わらずに、おおきな愛を注がれているからこそ、岩槻幼稚園のみんなは、びっくりするくらいよいこたちなのです! (^-^)/

岩槻教会牧師・岩槻幼稚園園長 清水 義尋

<今月のねがい> — つながりあう・豊かになる —

- ・お祈りすること賛美をすること、聖書のお話を聞くことで神さまがイエスさまを通して私たちつながってくださっていることを感じる
- ・友だちと遊びを繰り返す中で相手の思いに気づく。自分の思いを伝えることを保育者とともに経験する
- ・神さまの愛を感じ、友だちや家族、他者のために祈ろうとする
- ・子ども同士で話し合いやめごとの調整をしながら遊びが豊かになり、その遊びが長くまた何日も続くようになる
- ・寒い中でも庭の木の芽など次の季節への準備がなされていることに気づく

